

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

9.15

目次

広報サポーターだより 田原の水辺散策	2
伊良湖校区	4
学校は今… 福祉教育の取り組み	5
ちはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

浜辺を彩る
ハマカンゾウ！



広報サポーターだより

田原の水辺散策

皆さんこんにちは。広報サポーターの金田です。私は地域自然環境保全委員として、県や市の担当者と協力し、河川の水質調査などを行っています。地域の自然環境について、気がかりなことも多いですが、感動的な場面にも出合うことが多くあります。今回は、私がオススメする楽しい水辺の風景をご紹介します。

自然豊かな渥美
半島には、魅力が
いっぱいです！

広報サポーター
金田紘泰



●湿地の動植物

(黒河湿地と藤七原湿地)

▲ハッチョウトンボ(黒河湿地)
ササユリの花▶



黒河湿地植物群落(大久保町)と藤七原湿地植物群落(田原町)は、シデコブシの自生地として知られています。他にも、見事な花や生き物が見られます。中でも、黒河湿地のハッチョウトンボは、日本一小さなトンボで、赤色をしたオスは実に美しいです。このハッチョウトンボは、今年になって増えており、雑草の除去作業などの効果ではないかと思えます。また藤七原では、湿地の保全管理が進んだおかげでシデコブシが見事に咲き、里山には十数年ぶりにササユリもたくさん咲き誇りました。

●ハマボウ咲く河口

(新堀川・汐川河口)

ハマボウ群落(汐川河口)▶
◀ハマボウの花



7月下旬から8月初めにかけて、ハマボウが黄色の花を咲かせます。ハマボウは、亜熱帯性の樹木で、田原市のものが北限になるといわれ、新堀川(堀切町)のハマボウの野生地は県の天然記念物に指定されています。汐川河口にも群落があり、見事です。一日だけでしぼんでしまう可憐な花、ハマボウ。皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



●川に生きる動植物

(汐川水系と免々田川)

汐川の支流である清谷川（田原町）はホタルの名所として知られています。この川の上流には自然工法によるビオトープが作られ、今年のも最盛期には、連日数百匹ものホタルの飛翔が見られました。清谷川の環境保全活動を行っている「せせらぎの会」（会長 金田脩さん）の皆さんの活動が実を結んだものです。



▲ホタルの乱舞（清谷川）

◀ビオトープ（藤七原）



▲免々田川



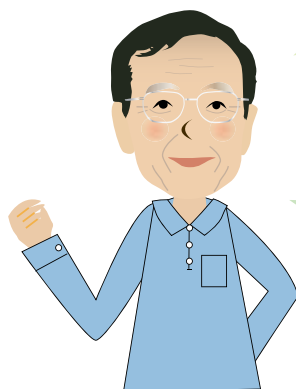
▲ホタルの乱舞（免々田川）

免々田川中流（山田町）では、今年になって、画期的な数のホタルの乱舞が見られました。竹炭投入や河川美化などの地域住民の協力をはじめ、清田校区（総代 木村春雄さん）の皆さんによる河川浄化作戦のたまものでしょう。ホタル乱舞のピーク時には、各地から見物客が殺到したそうです。この川の周辺は、シイの木が自然林が見られます。この自然林がきれいな水の源です。

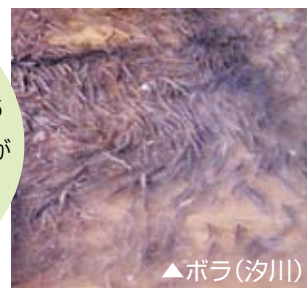
●おわりに

高い山がなく、降水量も多くない田原市。川は短く水量が少ないのも、汚れやすい原因の一つでしょう。平成14年には、汐川が全国ワースト4位になりましたが、住民や行政、企業が一緒に頑張って浄化に努め、汚名を返上できました。

川は地域を映す鏡です。「自分たちの川」を汚さず、美しい渥美半島をいつまでも守っていきましょう。



今年の2月には、汐川河口から数キロあたりまでボラの大群が遡上するほど、きれいになりました。



▲ボラ（汐川）

免々田川には、魚もたくさん泳いでいます。清流だからこそオイカワなども生息できるのです。



▲オイカワ（免々田川）

伊良湖

基礎データ

【人口】939人(H21.7.31現在)
 【世帯】277世帯(H21.7.31現在)
 【面積】約560ha
 【公共施設】伊良湖小学校・伊良湖港・「道の駅」伊良湖クリスタルポルト・伊勢湾海上交通センター
 【名所・旧跡】伊良湖岬灯台・恋路ヶ浜・伊良湖海水浴場・日出の石門・恋人の聖地・万葉の歌碑・椰子の実記念碑・芭蕉翁之碑・糟谷磯丸園地・東大寺瓦窯跡・宮山原始林
 【主な産業】農業・観光業・水産業

●恋路ヶ浜

校区の概要

伊良湖校区は渥美半島の先端に位置し、三方を風光明媚な太平洋・伊勢湾・三河湾に囲まれ、島崎藤村の叙情詩「椰子の実」のモチーフとなった恋路ヶ浜や、太平洋の荒波で浸食され中央に穴の開いた日出の石門、鎌倉時代に東大寺大仏殿再建の瓦を焼いた東大寺瓦窯跡などの名所・旧跡を有し、歴史とロマン、そして豊かな自然環境に恵まれた地域です。

花き・トマト・メロンなどの施設園芸が盛んで、温室やビニールハウスが建ち並んでいるほか、海の玄関口である「道の駅」伊良湖クリスタルポルトもあり、県内外から海水浴やトライアスロン大会、菜の花まつりなどで多くの観光客が伊良湖岬を訪れています。

●花やトマト・メロンを栽培する温室園地



白砂青松・恋路ヶ浜

岬の先端に位置する白垂の灯台・伊良湖岬灯台から太平洋に面

する日出の石門までの約1kmの砂浜・恋路ヶ浜は、「白砂青松」「音風景」「渚」など「日本の100選」に選ばれています。

しかし、近年、伊良湖岬周辺では松枯れや自然災害により自然景観が悪化し、その影響は農業や観光にも及んでいます。そこで、平成19年度から、白い砂浜や青々とした松原の美しい海岸を守り、緑豊かな地域を取り戻すため、市から松の苗木の提供を受けて、校区一丸となり、小学生からお年寄りまでが植樹を行っています。

●「大きくなあれ」と願いを込めて松を植樹



漁夫歌人・糟谷磯丸

江戸時代末期に伊良湖村で生まれた糟谷磯丸は、初めは一漁夫で読み書きができませんでしたが、母の病氣全快を願い、伊良湖神社に日参するうちに参詣人の詠む古歌に心を引かれ、歌を詠むようになりました。生涯に数万首を詠み、その素朴な歌は多くの人に愛され

ました。平成17年には「道の駅」伊良湖クリスタルポルトから伊良湖岬灯台へと続く遊歩道の縁石に、選歌された61首が刻まれました。また、伊良湖小学校では、児童が学芸会で糟谷磯丸を演じ、拍手喝采を浴びています。

●歌を楽しみながら散歩できる遊歩道



由緒ある祭「おんぞ祭」

伊勢神宮と深い関わりをもつ「おんぞ祭」は、三河で生産された蚕の糸を織って伊勢神宮に御衣(おんぞ)料として献じたことが始まりといわれ、毎年4月の第3日曜日の祭礼日には、参道に露店や植木市がずらりと並び、参拝者や観光客でにぎわっています。

●参拝者らでにぎわう参道





学校は、今…

SCHOOL REPORT 14

福祉教育の取り組み

子どもたちは学校生活の中で、お年寄りや体の不自由な方の疑似体験をしたり、話を聞いたりしています。今回は、思いやり
の心を育てる福祉教育の取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



全校参加の福祉実践教室(六連小学校)

六連小学校では、「ともに生きる明るい社会」をみんなの手で作り出すことを目的に、毎年「福祉実践教室」を行っています。1・2年生は、「崖の上のポニョ」を歌いながら手話をし、福寿園でお年寄りに披露しました。3・4年生は、アイマスクをつけて盲導犬体験をし、盲導犬が目の見えない人にとってどんな役割をしているのかについて学びました。5・6年生は、点字体験をしました。目の見えない人たちの読書の幅が広がるようにと点字の仕事をされている方のお話を聞いて、自分たちにできることは何かを考えた子もいました。



▶夢中になって手話をする児童

●感想 手話は初めてだったけれど、覚えることができてうれしかったです。覚えた手話をお父さんやお母さんにも教えてあげたいです。(1年生)



▶コマのまわし方を教えてもらう児童

●感想 「昔の遊びであんなにはしゃいでくれて、うれしかったです」「これからも『ひだまり組』を続けてほしいです」(老人会の方)

お年寄りとの交流『ひだまり組』(堀切小学校)

堀切小学校では、お年寄りとの交流を目的に、平成15年度から『ひだまり組』の活動を続けています。6月には1年生が老人会の方からコマ回しの手ほどきを受け、7月には2年生が老人会の方と一緒に水鉄砲を作って遊びました。どの活動も、子どもたちが楽しめたことはもちろん、参加したお年寄りの皆さんにも好評でした。2学期には、3～6年生が「竹鉄砲作り」「餅つき」などを行う予定です。

子どもたちは、老人会の方々とふれ合うことができる『ひだまり組』の時間を楽しみにしているようです。



社会貢献の気持ちを育む学習(野田中学校)

野田中学校では、障害のある方たちに寄り添えるようになってほしいと願い、昨年度から福祉体験を取り入れた学習を行っています。特に大切にしていることは、体験を通して学ぶということです。昨年度は、田原福祉専門学校と田原市社会福祉協議会に協力をお願いし、手話体験と点字体験を行いました。

生徒たちは、障害のある方の日常生活での苦勞を感じ、その方々の気持ちを考えることができました。中には、自分も何かしたいという思いを持った生徒もいました。



▶講師の話を聴く生徒

●感想 目の不自由な方は、臭いや歩く音で人が部屋に入ってくるのが、分かるそうです。鼻や耳が敏感になっていると知り驚きました。(1年生 H20)

8月3日[月]

できたよ！
僕らの飼育小屋！



▲建物内に自生する桑の木の前で、虫を手に笑顔がこぼれる児童たち

神戸小学校にカブトムシやクワガタを飼育する**カブトムシの家**が完成しました。この建物は、市教育委員会の「魅力ある学校づくりプロジェクト事業」を活用し、建てられたものです。児童たちは、小屋の中で歓声をあげて大好きな虫たちと戯れていました。

8月15日[土]

海の安全と
大漁を願い…



▲漁船団と共に沖へ出て、浦島太郎伝説がみごとに再現されました

江戸時代末期から続くといわれる伝統の**龍宮まつり**が、白谷海水浴場で行われました。浦島太郎にふんした子どもが亀にまたがり沖へ向かい、海の安全と大漁を祈願。その後の地元児童たちによる寸劇では、見物客から惜しみない拍手が送られました。

8月21日[金]

巡ってわかる
たはらの魅力！



▲参加した子どもたちは、駅長に大人顔負けの質問をしていました

市政びーある講座「**再発見！たはらの道の駅**」が開催され、親子連れなど、14名の市民が参加しました。市内3つの「道の駅」で、駅長から各施設の概要や売れ筋商品などの説明を受けた参加者は、それぞれの地域性などを「再発見」している様子でした。



田原市民活動支援センターのページ

講座 紹介

市民の活動を助ける コーディネーターの仕事

*コーディネーター＝整合・調整する人

人々は、話す、書くことなどによって相互理解を深めます。
市民活動を行うなど、達成すべき目標を共有する場合は、話し合いをさらに深めることが必要です。

田原市民活動支援センターでは、市民活動を担う人材育成のための研修や講座を毎年3回開催してきました。

今年度は、市民活動を活性化していく上でとても重要な、他団体や行政・各関係機関との協力や連携について学ぶ講座（全4回）を企画しました。すでに7月に第1回を開催し、とても好評でした。

第2回を右記のように予定しています。

あなたも市民活動への一歩を進めてみませんか。



第2回 市民活動コーディネーター 養成講座

講師／神谷典江氏

（とよかわボランティア市民活動センター・コーディネーター）

日時／10月3日(土) 10:00～12:00

場所／田原福祉センター 3階会議室

参加費／無料 <全4回講座、各回からの参加も可>

申込み、お問合せ 市役所市民協働課 Tel (0531)23-3504

Fax (0531)23-0180 Email kyoudou@city.tahara.aichi.jp



助成金・補助金情報

市民活動を行うために、さまざまな補助や助成があります。田原市では、市民の連携強化、地域振興および市民公益活動の促進を図ることを目的とした助成が実施されています。詳しくは田原市のホームページ（※）をご覧ください。

また、年間を通じ全国でも各種の助成事業が行われていますので、皆さんの市民活動にご活用ください。

※ http://www.city.tahara.aichi.jp/section/somu/shiminkyodo_hojo.html（『田原市の市民協働まちづくり事業補助金』ページ）

助成事業名	内容や対象など	日時など	申し込み・問合せ
子どもゆめ基金助成活動 募集説明会	・助成の対象となる活動について ・助成にかかる経費について ・提出書類作成について など	10/7(水) 13:30～16:00 会場：ウィルあいち	子どもゆめ基金部助成課 Tel 0120-579081 http://yumekikin.niye.ge.jp/
長寿・子育て・ 障害者基金助成事業	高齢者・障害者の在宅福祉、 生きがい・健康づくり、 子育て支援などの活動を行う団体	応募締切： 10/31(土)	独立行政法人福祉医療機構 Tel 03-3438-9945 http://www.wam.go.jp/wam/index.html

今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先
10/3(土) 13:30～	子どものための農業体験（全3回） ～畑で草とり（第2回）～	中山市民館（集合） 定員：30名 参加費：一人 300円（3回分）	子どもネイチャー教室 Tel 090-5872-2230（川口）
10/22(木) 10:30～11:30	おやこリズム ーおやこリズム・手あそび・絵本の読み聞かせー	童浦市民館 1F多目的室 対象：入園前の子どもと保護者 参加費：無料	くぬぎの会 Tel (0531)22-5334（木戸）
10/25(日) 13:00～（予定）	国際理解講座 ＝身近にある国際交流（仮）＝	田原文化会館 文化ホール 参加費：無料	たはら国際交流協会 Tel (0531)22-2622

通年

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています（毎週金・土・日午後2～7時、田原文化会館フリースペース）。
同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です！*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先：市役所市民協働課 TEL：0531-23-3504 FAX：0531-23-0180 Email：kyoudou@city.tahara.aichi.jp

紙面作成・編集：田原市民活動支援センター





募集

WANTED

田原福祉専門学校 学生

田原福祉専門学校では、平成22年度の推薦および一般・社会人入学試験を行います。

▼試験種別＝推薦入学試験、一般・社会人入学試験 ▼試験日＝推薦・社会人は10月24日(土)、一般は11月7日(土) ▼出願期間＝推薦・社会人は10月1日(木)～15日(木)、一般は10月13日(火)～29日(木)
▼試験内容＝推薦は面接、一般・社会人は作文と面接 ▼申し込み＝入学検定料1万5000円を振り込み

のうえ、田原福祉専門学校にある所定の出願書類に必要事項を記入し、出願期間内に提出(郵送の場合は当日消印有効) ▼その他＝今回の試験で定員に満たない場合は、11月以降も入学試験を行います。詳しくは直接お問い合わせください。

▼田原福祉専門学校

TEL 22局 3939

FAX 22局 7340



パソコン教室 受講者

▼対象＝18歳以上の市内在住または在勤の方 ▼定員＝各コース20名(先着順) ▼場所＝情報センター

▼受講料＝無料(テキスト代は実費負担) ▼申し込み＝直接または電話・Eメールにて(Eメールの場合は、住所、氏名、電話番号、生年月、希望コース、テキスト希望の有無を明記)／休館日は月曜日(祝日の場合は翌日) ▼その他＝受講中のコースを含め、同時に一人2コースまでお申し込みいただけます。

▼情報センター

TEL 22局 7200 FAX 23局 2808

✉ iyosys@city.taharaaich.jp

パソコン教室

コース	内容	コース記号	開催日	時間
はじめての方のパソコン入門《全4回》	基本操作、簡単な文書作成	S4	10/21(水)・23(金)・28(水)・30(金)	9:30～11:30
文書作成初級(ワード2003)《全4回》	ワードの基本操作、案内文の作成など	W4	11/4(水)・6(金)・11(水)・13(金)	9:30～11:30
表計算初級(エクセル2003)《全4回》	エクセルの基本操作、簡単なグラフ作成など	E2	10/21(水)・23(金)・28(水)・30(金)	13:30～15:30
デジカメ写真の活用《全2回》	パソコンへの写真の取り込み、保存、ワードへの挿入など簡単な編集	G1	11/6(金)・11(水)	13:30～16:30

※パソコンのOSはWindows Vista、使用ソフトは、Internet Explorer 7.0、Microsoft ワード 2003・エクセル 2003



東三河人にやさしいまちづくり 講座受講者

まちのバリア・心のバリアって

▼日時＝10月31日(土) 午前11時～午後5時 ▼内容＝車椅子や高齢者疑似体験セットを使って街を調査し、人にやさしい街づくりの考え方を学ぶ ▼受講料＝無料(昼食は各自負担)

▼日時＝11月7日(土) 午後1時～5時 ▼内容＝人にやさしい街づくりについてのパネルディスカッションを行う ▼受講料＝無料

▼対象＝どなたでも ▼場所＝豊橋市民センター(カリオンビル)6階多目的ホール ▼定員＝各50名(先着順) ▼申し込み＝電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・年齢・電話番号を明記)

▼建築課

TEL 23局 3526 FAX 22局 3811

✉ kentiku@city.taharaaich.jp



郷土の魅力を再発見しよう 「田原市検定」

田原市の自然や文化、産業について楽しく学んでもらおうと「田原市検定」を開催します。この機会に郷土・渥美半島の魅力を再発見してみませんか。



▼対象＝どなたでも ▼日時＝11月21日（土）午後1時30分～ ▼場所

＝田原文化会館・渥美文化会館（同時開催） ▼検定内容＝田原市に関する問題（初級問題100問）に

解答／80問以上の正解で合格（合格者には認定証を発行） ▼検定料

＝一般・高校生1000円、中学生以下500円 ▼定員＝200名（先着順） ▼申し込み＝11月8

日（日）までに田原文化会館・渥美文化会館窓口へ直接 ▼その他

＝受験対策として、10月25日（日）に田原文化会館で事前セミナーを開催します。（詳細は申し込み時に案内）

▼生涯学習課

☎23局3531 FAX 22局3811

働きたいママを応援します！ 「再就職準備セミナー」

▼対象＝妊娠、出産、育児または介護等で退職し再就職を希望する方

▼開催日時＝10月9日（金）午前10時～ ▼場所＝豊橋市民センター（カリオンビル） ▼参加料＝無料

▼申し込みは電話にて

▼（財）21世紀職業財団 愛知事務所
☎（052）586局7222

税

公的年金から市民税・県民税の引き落としが始まります

公的年金から市民税・県民税の特別徴収（引き落とし）が平成21年10月支給の年金から始まります。年金特徴対象の方には、6月に市から送付した納税通知書に、特別徴収予定の金額が記載されていますのでご確認ください。

▼税務課

☎23局3509

FAX 23局0180



寄付

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

＊ふるさと寄附金＊

▼8月3日、匿名希望の方から、金2万円。

平成21年8月30日執行 第45回衆議院議員総選挙 開票結果

8月30日（日）に行われた衆議院議員総選挙の小選挙区の開票結果は以下のとおりです。▶田原市選挙管理委員会 ☎23局3506

候補者氏名（敬称略）	政党等名	得票数	愛知15区計	当選
森本かずよし	民主党	20,331	127,059	◎
山本明彦	自民党	17,816	94,803	
斎藤ひろむ	共産党	1,369	14,595	
高橋のぶひろ	本人届出(幸福実現党)	513	3,781	

※比例代表の開票結果は、田原市ホームページからご覧になれます。

☎ http://www.city.tahara.aichi.jp/

❖浜松モザイカルチャー世界博 2009

モザイカルチャーとは、絵画や彫刻などの芸術と、造園や園芸などの技術が融合した「花と緑の像景」アートです。浜松市で開催される世界博に、田原市は伊良湖岬にある「恋人の聖地」を模した作品を出展します。国内外から91点の作品が出展されますので、ぜひお出かけください。



▲田原市の出展作品（イメージバース）

▶期間＝9月19日（土）～11月23日（月・祝）

▶場所＝はままつフラワーパーク（浜松市西区鎗山寺町）

▶入場料＝大人（満18歳以上60歳未満）1800円
中人（満15歳以上18歳未満）900円
小人（満6歳以上15歳未満）600円
プラチナ（満60歳以上）1300円ほか

▶チケット＝前売入場券発売中

市内では、道の駅田原めっくんはうす・ローソン・ファミリーマート・セブンイレブン・サークルKサンクスで販売中です。※詳しくはお問い合わせください。

▶問い合わせ＝街づくり推進課

☎23局3523 FAX 22局3811

広がる未来へ

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

41

●美しい渥美半島に①

5月下旬から渥美半島全域で、ひまわりの種まきが行われました。

このひまわりは、冬に菜の花が咲いていた畑を維持管理するために作付けされたものです。市内の遊休農地に、土地所有者やNPOの皆さんが中心となり、観賞用草花としてひまわりの種をまき、管理しています。

また、種まきの体験を通じて、環境と食と農業の関わりについて興味を深めてもらおうと、多くの幼稚園児や保育園児、小学生に参加していただきました。



(6月2日)

▲ひまわりの種まきをする北部保育園の園児たち



(8月3日)

▲笑顔も満開の赤羽根保育園の園児たち

今年は、梅

雨が明けた8

月上旬から、

みごとにひ

まわりが咲

き、沿道を行

き交う人々の

目を楽しませ

ていました。

ひまわり

は、つばみの

うちは太陽を追いかけて向きを変えま

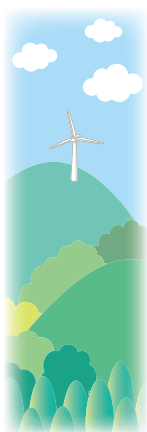
すが、咲き始めると太陽の昇る東側に

向かい、大輪の花を咲かせます。市内

に、東からの眺めがきれいなひまわり

畑が、もっと多くなるといいですね。

●市内のひまわり畑の面積は約12ha



◎たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人422人・事業所18か所(8月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

17

皆さんは、プラスチック容器類を出す時に、分類などで困ったことはありませんか？今回は、プラスチック容器類で出せるものや、その出し方についてご紹介いたします。

プラスチック容器類で出せるもの

物を入れて包むためにあるものや、中身を食べたり、使ったりした後に必要なになる容器が対象となります。

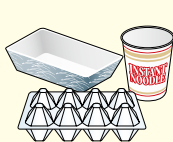
緩衝材



洗剤・シャンプー・リンスなどの容器



色付柄付トレイ、カップ麺のカップ、卵パック



ソース・食用油・たれ・ドレッシングなどのボトルなど



プラスチック容器類の出し方

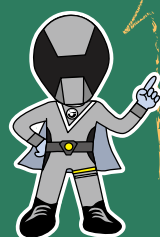
中身は使い切りましょう。容器類は、洗って、乾かしてから出してください。なお、お菓子の袋や汚れた容器などは、もやせるごみの日に出してください。



※そのものが商品として売られているものや、保管・運搬するために必要なケース、商品の一部であるものなどはプラスチック容器類で出せません。例：バケツ、CD・MDのケースなど

ごみも分別すれば資源になります。皆さんの協力をお願いします。

清掃管理課
☎23局35338
FAX23局0180



ゴミゴミとリサイクルレンジャー

交 流 通 信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

友好都市提携10周年 長野県宮田村

平成11年11月9日に友好都市提携を結んだ長野県宮田村。リンゴの木オーナー制度やイベントへの相互物産展の出展などを通じて交流が続き、今年度で提携10周年を迎えています。

今回は、自然あふれる宮田村をご紹介します。

●宮田村の見どころ

宮田村は中央アルプスのふもとに位置する豊かな自然に恵まれた村です。中でも、山岳・溪谷・森林・高山



植物などの自然美を楽しむことのできる千畳敷カールは、ロープウェイを使って誰でも気軽に訪れることのできるお助めのエリアです。

▲千畳敷カール

ロープウェイに乗れば、約7分30秒で到着します
約50分で千畳敷を一周する散策コースもあります

●「田原市民まつり」でお待ちしています



▲信州梅が里宮田太鼓の演奏

ユースなどを販売します。また、ステージでは「信州梅が里宮田太鼓」による演奏が行われます。

友好都市・宮田村を身近に感じる機会ですので、ぜひお立ち寄りください。

※観光情報は、宮田村観光協会ホームページをご覧ください。

☎ <http://www.vill.miyada.nagano.jp/kanko.php>

① 清潔なガーゼやハンカチ、布などを重ねて傷口に当てます。



■ 直接圧迫止血法
大出血の止血方法としては、出血部位を直接圧迫するものが基本です。

■ 直接圧迫止血法

大出血の場合は、迅速かつ適切に止血をする必要があります。一般に体内の血液の20%が急速に失われると、出血性ショックという重い状態になり、30%超が失われると、生命に危険を及ぼします。

こんにちは、かんちゃんです。今回から、災害時だけでなく、普段の生活でケガなどをしたときにも役立つ応急手当について、シリーズでご紹介します。第1回は、「止血」です。

忍びよる巨大地震

防災まめ知識

いざというときの応急手当 ① 止血

52

▼防災対策課 ☎ 23局3548

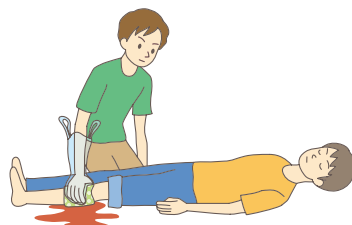
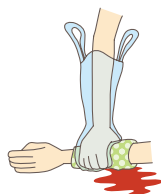
② 傷口に当てたガーゼなどを手で圧迫します。

※出血が止まらない場合、圧迫する位置が傷口から外れているか、力が弱いことなどが考えられます。

◎ポイント

① 手や足であれば、傷口を心臓より高い位置に持つとくると止血しやすくなります。

② 手当てをする人は、感染防止のため、できる限りビニール袋やゴム手袋を使用しましょう。



歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635

FAX 22局 3811

渥美半島の農業発展を支えた 木造温室

田原市は、平成18年度の農業産出額で全国一位となっています。電照菊をはじめとする花卉^{かき}、キャベツやブロッコリーなどの野菜、メロンなど自慢できる作物ばかりです。中でも、渥美半島の農業を印象付けるのは温室による電照菊の栽培でしょう。渥美半島で温室による施設園芸を最初に始めたのは、岡田儀八（小塩津町）で、昭和7年のことでした。メロンやキュウリなどを栽培し、高収益を上げ、温室は伊良湖岬村全域



▲木造温室(昭和40年ごろ)

花のない時期に花を出荷できるようなり、日本一の電照菊の産地となったのです。雨水を桤に溜め導水するなどの

に広まりました。戦時中は、統制により温室を縮小せざるを得ませんでしたが、戦後、電照菊の開発によって復活します。

昭和23年、小久保英男（堀切町）が家庭用の電線から配線し、温室の電照を始めました。電照菊の原理は菊の花芽ができる前に電照し、人工的に日照時間を長くすることにより、開花時期を遅らせることです。この電照は、温暖な気候で暖房がいらない温室から、さらに一歩進んだ技術開発です。導入時は電気の確保や電照時間の決定など、苦勞をしたに違いありません。そのかいあって、



▲温室内での作業風景(昭和32年ごろ)

効率が良くなかった水撒きは、昭和43年に豊川用水が通水されたことで、問題が解消され、経営は拡大していきましました。現在では、施設や技術改良を進め、田原市は花卉^{かき}の産出額日本一の地へと躍進しています。これらの発展を支えた原点が木造温室です。木造温室の造りは、コンクリートの基礎、木製の主体構造に屋根、そして壁にガラスをパテではめ込んだものです。木材は白く塗られ、これまでの建物とはまったく違う直線的で洗練された美しい外観です。木造温室は、ガラス、木が破損しても修理しやすく、また改造も簡

単で建設費用も安価という利点があります。そのため、昭和34年の伊勢湾台風では、木造温室も被害に遭ったものの、修理して再使用できた農家が大半でした。

産業としての特色だけでなく、9月10月に不夜城のように輝くこの景観は「ガラスの半島」と形容されました。渥美半島の電照菊の夜景は、常春の半島のイメージと独特の景観から、人々の憧れの風景として観光資源の一部となりました。

現在でも、現役で大事に使用されている木造温室もあります。渥美半島農業の立役者である木造温室を見て、先人たちの情熱を感じ取ってみてはいかがでしょうか。

（増山）

今月の「表紙」

▼浜風にそよぐハマカンゾウ。市内では江比間海岸のほか、伊良湖岬灯台周辺などでも群生地が見られます。岩場などの過酷な環境で、鮮やかなオレンジ色の花を咲かせるハマカンゾウは、私のお気に入りです。伊良湖岬では10月初旬まで見られますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。（〇）

【表紙の写真】江比間海岸のハマカンゾウ